

夢をかたらに…

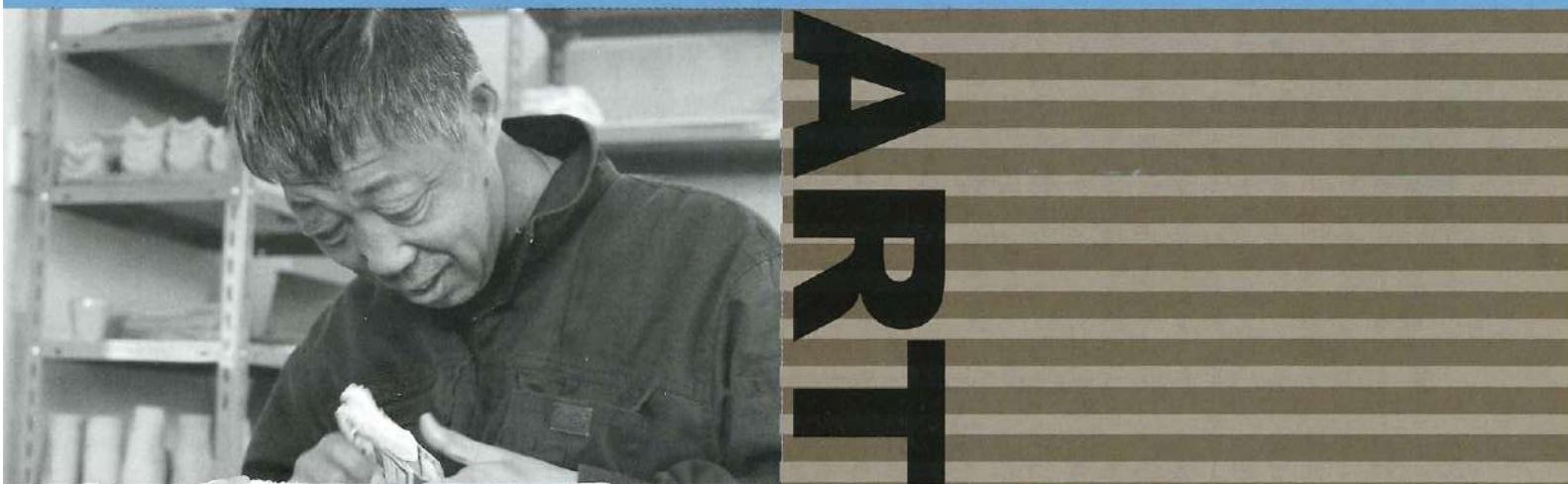
ゆうあい

vol.533

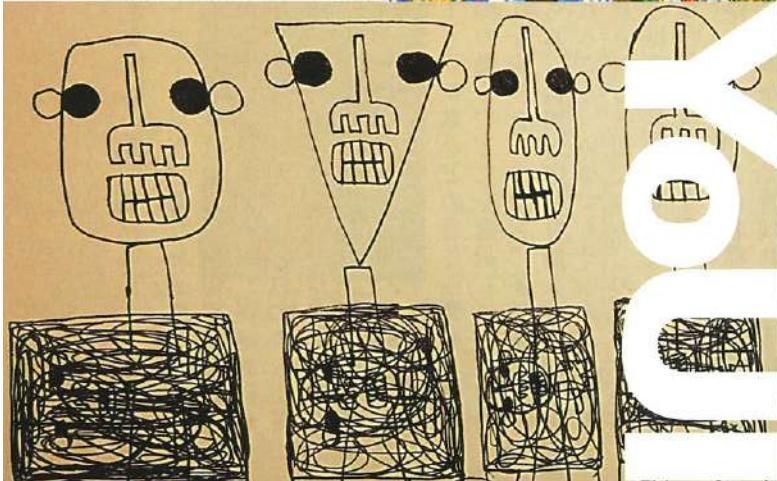
2017.10

<http://www.yuai.jp>
office@yuaip.jp

10月号／平成29年10月1日発行
昭和63年1月18日 第三種郵便物認可



ART



50年を期して、よび名がかわります。

おしまコロニーから、ゆうあいへ

この半世紀、私どもは「おしまコロニー」と称してきました。このよび名が、いつ、誰によって、なぜそう呼ばれるようになったのか、経緯ははっきりとしていません。いつしか自然に定着し、自らも名乗ってきたのが「おしまコロニー」という呼び名です。

生涯にわたる絶え間のない支援を、という創設者の姿勢が、児童から高齢者まで、知的障がいのある方々のための施設を数多く作り出していました。その施設群がコロニーという呼び名を想起させたのでしょう。渡島半島の地名を表す、「おしま」と一つになって「おしまコロニー」となりました。

歐米では過去、数千人規模のコロニーが作られ、障がいのある方々を社会から隔離収容して終生保護をおこなってきた歴史があります。社会と切り離した処遇のあり方を大きく変えることになるのがノーマライゼーション思想です。この思想の世界的普及により、先進国では、コロニー解体、脱施設化が進みます。

私たちの創設者である大場茂俊は、一九六三年、二か月ほどヨーロッパをまわり、ノーマライゼーションの提唱者であるバンク・ミケルセンから直接お話を伺う機会を得て帰国、本格的な障がい者福祉事業の展開をはじめます。その最初の構想図の中にはすでにアフターケアセンター、つまり施設を出て地域で働き暮らす人たちの支援に携わる機関の構想が書き込まれています。施設から社会へ。施設に止め置くことなく、地域であたり前の暮らしを手に入れられるよう支援にあたる、そうした流れを強く意識しての事業展開が以後進められています。

一九七〇年代、日本でも脱施設化が叫ばれるようになり、内容を問わず大規模であることが、歐米の隔離的なコロニーと混同され批判を受けることが多くなりました。このとき、「おしまコロニー」の名称変更をすべきかどうか議論がされました。しかし、私どもの実践は、隔離的なコロニーとは全く違うことを再確認し、「おしまコロニー」の呼称を使い続けることを決め、現在に至っています。

しかし今回、私ども「おしまコロニー」は、今年、創設五十周年を迎えるにあたり、慣れ親しんできた「おしまコロニー」の名称を、「ゆうあい」と変更することにいたしました。社会と福祉法人侑愛会の「侑愛」のひらがな読みで「ゆうあい」です。これを総称とすることにいたしました。

コロニーという言葉に含まれるネガティブな意味合いや印象は決して快いものではありません。特に利用者の皆様、そのご家族にとって少しでも不快なものであれば、そこは実践内容の如何を問わず、まず改善すべきです。

それでも一つ。これまで私どもが培ってきた支援のあり方を、新たなお客様、そのご家族にとって少しでも不快なものであれば、そこは実践内容の如何を問わず、まず改善すべきです。

「ゆうあい」。この名称が定着し、皆様に愛着をもつて呼ばれるようになります。相応の時間が必要です。 「ゆうあい」として皆様に親しまれるよう、時間をかけて汗を流す努力を惜しまないつもりです。ご支援ください。

「ゆうあい」ロゴマーク



どこまでも広がる空と清々しく吹き抜ける潮風をイメージさせる青をメインカラーにしました。空が象徴するのは「ゆうあい」の未来、潮風には「先進の取り組み」を象徴し、新たな一步への思いを込めました。

「おしまコロニー」から「ゆうあい」へ。私どもの未来へとバトンをつなぐ新しい名前です。

大きな課題と考えています。

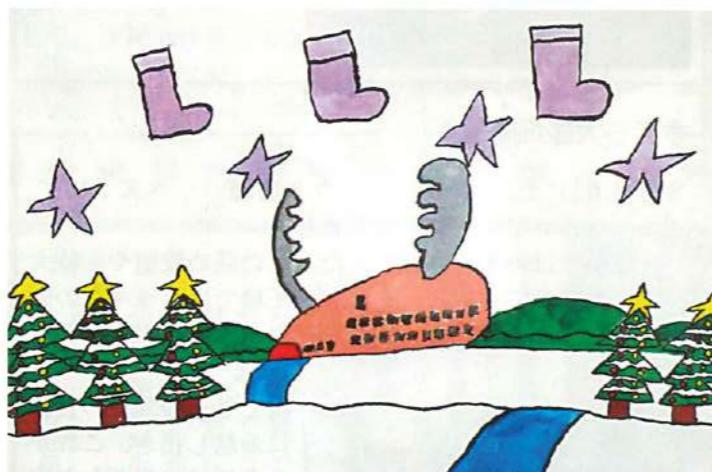
アートギャラリー ゆうあい 2017



東京 2017／市販塗絵に色鉛筆／700×1000mm
青木 秀諭（あおき ひでつぐ）



山 2015／紙に水彩絵の具／400×510mm
小林 重子（こばやし しげこ）



ミシシッピ州ホテル～トナカイの星バージョン
2016／紙に水彩絵の具、油性ペン／350×500mm
春菜 俊明（はるな としあき）

表紙(左下)

無題 2006／スケッチブックにボールペン／236×322mm
塩田 隆太郎（しおたりゅうたろう）



ズームイン 2016／紙に水彩絵の具／380×540mm
佐藤 亨（さとう とおる）



和(輪)になって踊ろう
2016／粘土、釉薬／600×600×70mm
陶工芸めでる（新生園）



無題 2017／切り絵／152×102mm
島津 智広（しまづ ともひろ）



父の面影、母のぬくもり
2016／粘土（額）、紙にクレヨン、油性ペン／455×610mm
成田 信之（なりた のぶゆき）



無題
2016／紙に色鉛筆／350×250mm
成田 幸樹朗（なりた ゆきお）



